2020年度NPO法人愛実の会事業計画　法人概況

1．実施事業の概略

特定非営利活動法人愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指している。

そのために下記のような事業を行い、実施する。

① 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業。

② 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業。

③ 障害者総合支援法の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業。

2．2020年度法人活動方針

以下の項目を今年度の活動方針として掲げ、日常の取り組みを行っていく。

① 運営会及び事務局体制を見直し、新たな組織づくりを目指す。

② 新型コロナウイルス対策として、できる限りの環境整備を講じて、メンバー、家族、職員が安心できる事業の継続を目指す。

③ 法人の理念を具体化しながら、将来のビジョンを明確にしていく。

・シェアハウス構想については3年を目途に準備を進めていく。

・地域への理解や交流及び施設の見える化を促進させていく。

④ 特定処遇改善加算の取得に向けて、キャリアパスの仕組みを再構築していく。

⑤ 愛実の会の活動をブランド化していく。

3．事業の実施に関する事項

①特定非営利活動に係る事業

（1）生活介護事業について

契約メンバー数32名（2020年4月1日現在）

2つの部署（大地の家18名・紙風船14名）のメンバーが安心できる寄り添う場所として、環境及びアシスタントとの信頼関係に配慮し、それぞれの特徴を充分に生かしながら充実した活動を行っていく。

また、地域との関わりや社会参加を大切にしながらイベントを企画開催していく。

（2）居宅介護及び移動支援事業について

メンバー、家族の高齢化重度化への対応として喀痰吸引等医療的ケアの体制を整え、相談支援事業所及び他事業所と連携し、支援の輪を広げながらメンバーの地域生活を支えていく。

（3）独自サービス事業について

緊急時の対応、その他必要なニーズに柔軟に対応できるよう努めていく。

②アシスタント体制について

●アシスタント総数39名（2020年4月1日現在）

○正職員アシスタント16名：生活支援員11名、生活介護管理者1名、サービス管理責任者2名
サービス提供責任者1名、調理員・事務1名

○嘱託アシスタント2名：生活支援員 1名、居宅介護管理者1名

○パートアシスタント2名：生活支援員2名

○アルバイトアシスタント18名：生活支援員6名、看護師1名、送迎運転手4名、清掃員1名、調理員3名、登録ヘルパー2名、リトミック講師1名

○嘱託医1名

③ 研修について

●法人全体研修会　4月29日（水）　場所：障がい者デイセンター愛実

〇理念についてのワークショップ　　理事長　戸田真二

〇法人指針に基づく各個人の目標設定　　新型コロナウイルス感染拡大のため、中止

●正職員については専門研修への参加を計画的に実施し、キャリアアップに必要な資格取得を応援する。

④ 福利厚生について

●健康診断、インフルエンザ予防接種助成、セルフケア助成、腰痛ベルト購入助成

●正職員アシスタントに対する福利厚生センター（ソウェルクラブ）への加入継続。

⑤ 実習生・見学等の受け入れについて

●各部署の受け入れ態勢に応じて対応していく。見学者については出来る限り受け入れて行く。

⑥ ボランティア等の受け入れについて

●ホールイベント、紙風船サークル・交流会、その他イベント等積極的な受け入れを行う。

4. 会議の開催に関する事項

①総会

●通常総会　5月30日（土）　決算及び予算　法人・各部署の事業報告および事業計画
任期満了に伴う役員改選等

②理事会

●四半期開催を予定する

③定例会

●随時開催（昨年度は2回）これからのビジョンの話し合い及び学びの場として行う。

④その他の会議

●運営会議(毎月第1・3火曜)、シフト会議(必要に応じて実施)、各部門別＆ケース会議、防災会議(随時)

※分かち合いを各会議に意識して取り入れ、お互いの理解を深めていく

5. 寄付等について

●寄付金の目標額200万　（寄付185万　夢づくり15万）

（内訳：アシスタント体制の充実、紙風船人形劇の製作等として使用）

※認定NPO基準PST＝年3,000円以上の新たな寄付者を増やしていく。

6. 法人正会員の状況

●2020年4月1日現在45名

（内訳：メンバー家族25名・アシスタント14名・協力者4名・理事2名）

7. 会計の状況

新型コロナウイルスの影響について見通しが立たないが、第一に休業要請のない限りは人的削減は行わない。　また、安心して事業が継続できるよう、必要に応じて融資等の策を講じる。

2020年度 生活介護：大地の家事業計画

計画概要

事業期間	2020.4.1-2021.3.31	
当事業年度 テーマ	メンバーの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す。 そのために、ただ横に寄り添うだけではなく、メンバーの視線に立ち、メンバーにとって何が必要であるかを模索していく。 アシスタントの思いが優先されるデイケアではなく、メンバーにとってのデイケアを念頭に、メンバーとのかかわりを大切にしていきたい。 「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や日常の活動に季節を感じられるような取り組みを計画しつつ、外での活動も行っていく。 また、今年度は新しいメンバーが2名増えることから、メンバーのことを知り、アシスタントのことも知ってもらうよう取り組みたい。	
年間外出計画	月次	具体的内容
	4	花見
	5	花フェスタ記念公園バラ祭り花見(岐阜県可児市)
	6	ボウリング(行先調整中)
	7	ミツカンミュージアム(半田市)
	9	名古屋港水族館(港区)
	10	遠足・のんほいパーク(豊橋市)
	10	陶芸体験(行先調整中)
	11	リトルワールド(犬山市)
	12	紅葉狩り・東山動植物園(千種区)
	1	セントレア(常滑市)
	2	掛川花鳥園(静岡県)
	3	チューリップ祭り・木曽三川公園(岐阜県海津市)
	5.6.9.11.12.2	イエローレシートキャンペーン（イオンスタイル名古屋茶屋店にて）
月次活動計画	目安	具体的内容
	月数回	音楽活動（ミュージックケア、アシスタント企画）
	月2回	リトミック（外部から講師を招いて音楽活動に取り組んでいく）
	月1回木曜	茂吉さんのプログラム（講師による口唇刺激等の実施）
	毎月11日	イエローレシートキャンペーン（平日にイオンモール名古屋茶屋にて）
	月1回	その月に誕生日を迎える人のお祝いをする
	月1～2回	季節の食材を使ったお菓子作り
	月2回	壁画作り（各月ごとにテーマを決め、季節やイベントなどの壁画作成）
	2か月おき	天井飾り作り（季節ごとのテーマに沿い、複数回に分けて制作）
季節毎の 活動計画	月次	具体的内容
	4	新メンバー歓迎会・花見
	5	端午の節句・母の日
	6	父の日

季節毎の 活動計画	7	七夕・暑中見舞い
	8	流しそうめん・スイカ割り
	10	ハロウィン・十五夜
	12	クリスマス会・車いすの掃除
	1	鏡開き・書初め・初釜・成人式
	2	節分・バレンタインデー
	3	ひな祭り・ホワイトデー

日常の活動計画	2020年度はメンバー増に伴い、(月)～(金)の平均メンバー数が10.8人となる。 メンバーの増加を受け、愛実友だちの家の部屋(以下、愛実の部屋)をより活用していくこととし、大人数で賑やかになりすぎないようにしたい。 具体的には、曜日ごとに愛実の部屋で活動を行うメンバーを固定し、週替わりで決まった活動を行うようにしていく。少人数で、なるべくマンツーマン体制で活動を行うことで、関わりの濃い、落ち着いた時間を提供できるようにしたい。 愛実の部屋での活動内容は、1週目さんぽ、2週目足浴、3週目ふれあい体操、4週目マイタイム　を行うことを予定している。 また、大地の家の部屋ではこれまでと同様に、明るく楽しく活発に、にぎやかに活動を行うように取り組みたいと考えている。音楽活動、レクリエーション、創作活動等様々な活動を行っていく。 大地の家、愛実友だちの家それぞれの部屋を使用し、さらにホールも活用することで、場所による活動内容の変化や、雰囲気の変化などを感じてもらいたいと考えている。 また、イエローレシートについては少人数での参加をせず、従来通りに全員での参加を目指すこととした。 人数を絞って参加することも検討したが、男女比の調整や参加回数の不均衡など様々な調整が必要になることから、今回は見送りとした。 そして、ふれあい体操については、毎日行うこととした。 昨年度末の講習会に多くのアシスタントが参加し、手技の習得のみならず、ふれあい体操に対する認識が深まり、重要性を認知した。 なるべく多くの刺激をメンバーに定期的に感じてほしい、刺激を受け取ることが重要だとの思いから、継続して行っていく。 ふれあい体操の実施によって、刺激を与え受け取るだけでなく、コミュニケーションツールとしても大きな役割を果たすものだと期待している。

その他

		月	火	水	木	金	土	計
人員配置 (2020.4現在)	メンバー	11名	12名	10名	10名	11名	8名	62名
	アシスタント	9名	10名	9名	8名	9名	7名	52名

アシスタント に関して	2020.4より女性アシスタント育児休業より復帰(1名) 2020.5より女性常勤アシスタント(5日/週)、勤務日数削減(4日/週) 引き続き女性パート/アルバイト職員募集中
メンバーに関して	2020.4より男性メンバー1名(3日/週)、女性メンバー1名(3.5日/週)通所開始 2019年度:52名/週　⇒　2020年度:62名/週

2020年度　生活介護：紙風船事業計画

計画概要

<table>
<tr><td>事業期間</td><td colspan="2">2020.4.1～2021.3.31</td></tr>
<tr><td rowspan="2">当事業年度
テーマ</td><td colspan="2">①楽しく元気に出かけよう　②ふれあいつながり大切に　③心からの笑顔を広げよう</td></tr>
<tr><td colspan="2">・メンバーそれぞれがやりたい事に力を入れ役割り分担していく方向性は継続。
・人形劇の演技力の向上、前座やパフォーマンスの充実。新作制作を6月までに完成予定。
・宣伝活動はSNSの充実や方法の改善をしていく。 YouTubeを使い人形劇を広げていく為動画編集の技術を学ぶ。
・グッズ活動：グッズ制作、新作検討(実用性)制作、販売できる機会、場所を広げていく。
・メンバーさんが安心、安全に通所できるようアシスタントの介助技術、コミュニケーション技術の向上。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">人形劇
活動計画</td><td></td><td>内容</td></tr>
<tr><td>人形劇講座</td><td>人形技術家おばらしげる先生による演技指導、人形劇講座等　月1実施</td></tr>
<tr><td>人形劇練習</td><td>新しい劇を製作中。(完成日は相談中)</td></tr>
<tr><td>ボランティア</td><td>福祉施設、児童施設への慰問公演や招待公演を開催していく</td></tr>
<tr><td rowspan="2">人形劇公演予定</td><td>予定月日</td><td>内容</td></tr>
<tr><td colspan="2">公演予定や公演依頼を頂いておりましたが、コロナウィルス
感染拡大防止のため公演が中止のため、予定はありません。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">その他の
活動計画</td><td>実施予定月</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>参加可能月</td><td>毎月11日　イエローレシート呼びかけ　大高イオン参加</td></tr>
<tr><td>11月</td><td>活動報告会予定 （候補日を複数設定して参加者の多い日を設定）</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td>レク</td><td>決行月　行先</td></tr>
<tr><td colspan="2">4月現在、新型コロナウイルス蔓延の収束の見通しは立っておらず、愛実の会としても外出がいつできるようになるかわからない状況です。事態が収束に向かい、愛実の会でも外出が再開できる見通しがついたのちに出させていただこうと思います。</td></tr>
</table>

活動計画	宣伝活動	SNS,応援クラブの情報発信の充実。パンフレット、チラシ、名刺制作。 電話かけ、各イベント、施設へ訪問宣伝をしていく。
	グッズ活動	SNSアプリを使い販売。実用的な新作検討、制作をする。 公演先のグッズ販売だけでなく、売れる場所を広げる。
	夢づくり活動	日中活動の充実。表現練習、発声練習、川柳を行っていく。 また、公演プログラム、前座を考えキャパを広げていく。
	レク	メンバーの希望を募り、1人2回の参加で年に6回を計画し実施。 梅雨、真夏、真冬はできるだけ避けていきます。(給料対象外)
	体力づくり	日頃の活動の充実。人形劇を元気に演じる為、健康維持を目的。 近隣の公園で車イスの自走、体操。室内バスケやホッケーを実施。
	身体のケア	日頃の活動の充実。人形劇を元気に演じる為、健康維持を目的。 介護予防体操、体幹ストレッチ、マッサージ、足湯など実施。
	サークル活動	各曜日サークルに分かれ、それぞれの取り組みたい事を行っています。 (給料対象外)
	仲間の会	月に1回実施。公演予定確認、各活動報告。時にはメンバー アシスタントを交えテーマを決めての話し合いも行います。
	夢づくり基金	目的を明確にして随時呼びかけをしていく。法人会報にも掲載。 人形、小道具の修理。新作の制作費として使用していきます。
	イエローレシート	呼びかけは1団体1時間、5人までは今年度も継続。 頂いた募金は人形劇、紙風船の活動で必要な物を購入していく。
	その他	学生ボランティアさん、外部のボランティアさんの受け入れを広げて 人形劇活動、日中活動の活性化、充実を目指します。

人員配置

	月	火	水	木	金	土	計
メンバー	4	8	9	7	7	9～10	44～45
アシスタント	3	6～7	6～7	6	5	8～9	35～37

その他	メンバー給料:1日150円　継続
	新型コロナウイルスが終息するまでは、外出や公演予定が立ちませんが、人形劇の新作制作に力を入れていきます。また、室内でできる活動の充実をみんなで相談して楽しい活動を考えていきます。

2020年度　居宅介護事業所あみ事業計画

● 目標

・当法人の生活介護事業所（障がい者デイセンター愛実）に通所しているメンバーへのサポートを中心に居宅介護サービスの内容を充実させていく。
・特定事業所加算取得により、サービスの質の向上及び職員の相談体制を密にしていく。
・居宅介護、重度訪問介護を事業別に仕分けていく。
・シェアハウス等メンバーの地域生活支援の課題を明確にして取り組む。
・医療的ケア体制の必要性から、喀痰吸引等研修参加を推奨していく。
・新型コロナウイルス感染のリスクを十分考慮しながら必要な予防策を講じる。

● サービス提供内容

朝のケア、日中のケア・夕のケア・入浴介助、通院や余暇支援のための外出支援等
① 居宅介護事業：身体介護（基本計画3時間以内）・家事援助・通院等介助
② 重度訪問介護事業：重度訪問介護（基本計画3時間以上）・加算移動（外出支援＝ｶﾞｲﾄﾞﾍﾙﾊﾟｰ）
③ 地域生活支援事業：移動支援　（外出支援＝ｶﾞｲﾄﾞﾍﾙﾊﾟｰ）

● 人的体制

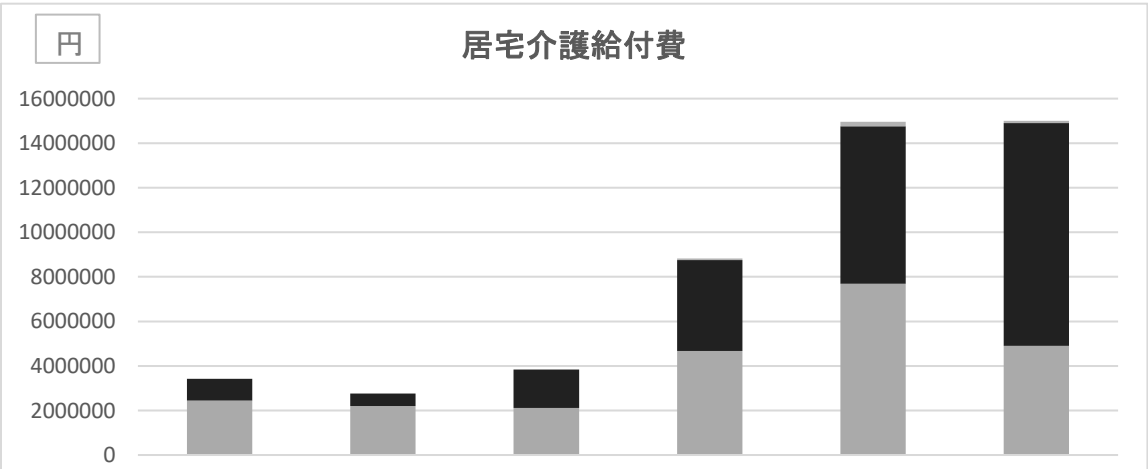
今年度は現体制を保持しながら、次年度に向けて必要な人材の確保を模索していく。

● 相談体制

・月1回の居宅会議を定例開催し、職員全員参加とする。また、運営会にて情報の共有を図る。
・サービス提供について報告・伝達・相談及び連携を密にしていく。
・相談支援事業所からの基本計画に基づき、その都度利用者・家族の意向に寄り添いながら、介護計画を作成または見直しを行い、サービスの提供を行っていく。

● 介護給付費の変遷（2015年度-2020年度）

	居宅介護	重度訪問介護	移動支援	合計	前年度比　円
2015年度	2,437,491	978,129	0	3,415,620	-464,317
2016年度	2,205,015	558,385	0	2,763,400	-652,220
2017年度	2,107,789	1,732,404	0	3,840,193	1,076,793
2018年度	4,668,670	4,081,380	69,000	8,819,050	4,978,857
2019年度	7,689,898	7,065,636	198,000	14,953,534	6,134,484
2020年度	4,900,000	10,000,000	100,000	15,000,000	46,466



2020年度 管理部門事業計画

●給食管理(小久保)

事業方針	事業内容
○ 保健指導、衛生管理マニュアルに基づく調理を行う	○ 季節を考慮した食材の発注、献立の作成
○ 汁物の塩分・食事の温度管理・栄養等「健康な食事」を提供する	○ 調理員の検便、食中毒発生防止、感染予防
	○ 食物アレルギー・嚥下障害に関する配慮

●車両管理(竹内)

事業方針	事業内容
○ 安全に車両が運行できるよう、故障等を起こす前に整備・点検を行う	○ ドライバーによる洗車、車内清掃を随時実施
	○ 6か月ごとのオイル交換の実施
	○ 車検や点検を(株)メカノスに依頼、修理も同様
	○ (株)メカノスにて、12か月点検と同時にリフトの清掃・点検も実施

●防火防災管理(佐藤)

事業方針	事業内容
○ 防災訓練の実施	○ 災害発生時に真栄マンション自治会と協力し合える体制作りを行う
○ 火災予防上の自主点検実施	○ 日常から心がけるとのできる事柄を取り入れた訓練をメンバーを交えて行いたい
	○ 地震、津波、火災など複合的な防災訓練の実施を検討したい

●会報担当(小久保)

事業方針	事業内容
○ 見やすい会報つくり	○ 年3回の会報発刊(7月・11月・3月) 校正を決め、各担当への原稿依頼
○ 職員が参加できる書面つくり	○ 全体の編集・校正確認、入稿、発送準備
	○ 会報を通して「愛実の会」への理解を深めていき、寄付者を募っていく そのために既存の会報の形の捉われず、活動のテーマや目的などをわかりやすくしていく

●HP担当(戸田)

事業方針	事業内容
○ 愛実の会の見える化の促進	○ 愛実の会の魅力を発信していく
	○ 各部署の活動紹介を活性化していく
	○ 会報の掲載及び最新情報の更新を行う